

「挑戦」



ラグビー部監督
伊東 真吾

ラグビー後援会の皆様方には、日頃より物心両面にわたり温かいご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

三年ぶりに、ラグビーの現場に戻らせていただけて感謝していると同時に、責任を感じています。秋田工業ラグビーは、常に全国優勝を目指しているチームで、その目標を達成しようと努力をしています。現在の實力は全国ベスト16くらいレベルで自分自身の指導不足を感じています。しかし、近年秋田工業ラグビー部を卒業して、トップリーグ・各大学リーグで、レギュラーとして活躍しているOBもたくさん増えています。また、ラグビー以外でも立派な社会人となって、企業のため、地域のために貢献できる大人に成長している姿を見て大変うれしく思います。秋田工業ラグビーは、全国優勝を目指しながら、人間力を高め、感謝の気持ちや勇気をあたらえられるチームになることが大切だと思います。

昨年度から、國學院大學ラグビー部監督で、秋田工業ラグビー部OBでもある伊藤護さんにアドバイザーコーチをしてもらっています。伊藤さんは、日本代表の経験と東芝府中のトップリーグの経験もある選手で、常に近代ラグビーの新しい

情報を勉強しており、それを秋田工業にも還元してもらっています。指導者として、常に勉強し選手以上に成長しなければ日本一はないと思います。ラグビーは毎年ルールが変わり、進化しています。不易と流行を意識しながらチームを創ることが大切です。全国の差で一番感じることは、経験値だと思います。コロナの感染による現代社会によって、強いチームとの試合数が少なく、特に接点でのぶつかり合いで強度を上げることができず苦戦しています。しかし、秋田工業ラグビー部は自校のグラウンドで選手を鍛え上げ、日本一厳しい練習をしてきた文化があります。これまでの先輩方の思いのあるこのグラウンドで、精魂尽くしてプレーすることを目指していきます。

今年度の成績は、次の通りです。

★第三十回東北新人(二月)

秋田工業 二十八対十九 仙台育英

★全国選抜大会(三月)

秋田工業 十二対二十四 天 理

秋田工業 十二対五十四 大分東明

★令和三年度中央支部総体(五月)

秋田工業 三十六対五 秋田中央

★第六十七回秋田県高体連総合体育大会(六月)

秋田工業 五十対〇 秋田中央

★第四十八回東北総合体育大会(三二国八月)

秋田 十二対十九 宮城

八月までの大会を振り返ると、菅平台宿が中止となり、経験不足でレベルアップが難しい状況です。しかし、それは、秋田工業ラグビーだけではなく、全国のチームが同じ状況にあると思います。学校スタッフ、OBスタッフと選手達が一球となつて、多くの課題を一つ一つ修正し、徹底させていこうと思います。今一度、守備を鍛え上げ、失点の少ないチームを目指します。そして、チャンスで確実に得点できる力を身につけ、勝利をつかみたいと思います。

今後の予定は、十月下旬に花園予選、一月に花園があります。今年の三年生は、ラグビーが好きで、ラグビー理解力の高い選手がいます。主将柴田と副主将桜庭侑と船木が中心となつて、バランスのよいチームに仕上がっています。花園予選は、秋田工業ラグビーの魂を前面に出し、秋田工業ラグビーの本質であるスクラムとタックルで相手を圧倒します。そして、日本一を目指し、全国ベスト8の目標を達成します。

後援会の皆様は勿論のこと、ラグビーファンの皆様、また、秋田県民の皆様、元氣や勇氣、感動を与えることのできる試合をします。最後になりますが、今後とも物心両面にわたり、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

令和3年度

秋田県高等学校ラグビーフットボール新人大会

日 時 令和3年11月5日(金)、6日(土)、7日(日)

会 場 あきぎんスタジアム

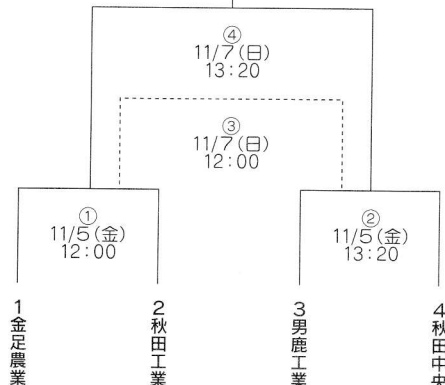
開会式 実施しない

組合わせ

決勝
11/7(日)④
あきぎんスタジアム

3位決定戦
11/7(日)③
あきぎんスタジアム

準決勝
11/5(土)①②
あきぎんスタジアム



7人制オープン戦
11/6(土)11:00
あきぎんスタジアム

